

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう  
めあて

序論部分のグラフの効果と本論の構成について考えよう。

序論

教科書 103 ページ  
のグラフを提示

グラフから読み取ったこと

- ・ テレビを見る時間が一番長い。
- ・ ラジオや新聞は少ない。
- ・ 役に立つメディアの中ではテレビが一番多い。

筆者の意見の述べ方のくふう



グラフの使用

効果

テレビが最も身近なメディアであり、えいきょう力が大きいことを、印象づける。

本論

本論		構成
⑥ ⑤	④ ③	形式段落
具体例		おおまかな内容
		筆者の意見

【3 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」③  
本時のねらい

- ① 筆者の意見の述べ方の工夫としてグラフを用いていることを読み取らせる。
- ② 内容や接続語などに注意して、本論部分を筆者の考えと具体例の部分に分けさせる。

- 1 学習計画表を見て、本時の学習内容とめあてを確認する。
- 本時は、序論部分を読み取った後、本論部分の構成について考えていくことを確認させる。

- 2 序論部分を読み、グラフの内容について話し合う。

- グラフから読み取ったことを基に、アンケート結果も絡ませながら、テレビが最も身近なメディアであることや、その影響力などについても意見を述べさせる。
- ※ 筆者の主張部分「テレビと付き合い合っていく必要がある」という表現から、「どうして筆者は、このように言っているのか」と投げ掛け、序論部分にそのきっかけがあることを押さえながら序論部分の読み取りに入ります。

- 3 筆者の意見の述べ方の工夫について考える。

- 筆者の意見の述べ方の工夫として、グラフを用いた意図や、どのような効果があるのかについて考えさせ、ワークシートに記入させる。

評価 ① 筆者の意見の述べ方の工夫として、グラフを用いていることに気付いている。  
(読む)

- 4 本論部分の四つの段落を筆者の考えが書かれている部分と具体例が書かれている部分に分ける。

- ※ 「しかし」「このことを」「もっと」などの言葉を手掛かりに意見部分③④段落、図と具体例の部分⑤⑥段落に分けさせます。

評価 ② 本論部分を書かれている内容や接続語などに注意して、筆者の意見が書かれている部分と具体例が書かれている部分に分けている。(言イ(キ))

- 5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

- 次時は、図の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉について考えていくことを伝える。